奨励金で建てられた
サマペオングお茶園の学校

わかちあいプロジェクト NEWS No.5

1995 APRIL

サマペオングお茶園の学校で学ぶ子供たちと先生

世界の痛み

科学技術が目ざましく躍進したにもかかわらず私たちが暮らす世界では、開発途上国の人口の5分の1が毎夜ひもじい思いをし、4分の1が安全な飲み水などの生活必需品にもこと欠き、3分の1が赤貧の状態で暮らしている。それは言葉では簡単に語り尽くせないほど、人間としてぎりぎりの状態である。

私たちはまた、きわめて対照的な世界に生きている。非常に多くの人がひもじい思いをしている一方で、大量の食料が棄てられている。幼年時代を楽しく暮らせない子供が数多くいる一方で、なくてもよい兵器が大量につくられている。世界的に軍事支出が減少していることは歓迎すべきことだが、それでも人類の半数の総所得の1年分に匹敵する額が軍事費として使われている。10億人の裕福な人びとは、最貧状態にある10億人の所得の60倍の金額を思うままに使っている。

(国連開発計画1994年報告より)

トランスフェアー紅茶 貧しい人びとの希望

松木 傑 事務局

1993年からトランスフェアーコーヒーの販売が始まり、昨年は世界で約9,900トンが扱われましたが、日本ではわたしたちが販売した5トンと第一コーヒーが販売した3トンの合計8トンにとどまりました(第一コーヒーがトランスフェアーの生産者から購入したのは49トンで業務用にシールを付けないで販売)。一般の業者にまで広がらないことと生協などの消費者団体が本格的な取組みに至っていないためです。

コーヒーに続く第二の品物として、トランスフェアー紅茶の基準が定められ、すでにヨーロッパでは昨年秋から販売が始まっています。目的は消費者の力を借りて紅茶園の労働者の生活改善を目指すことにあります。コーヒーの基準の中心は、最低買入れ価格の保障にありますが、紅茶の場合は、紅茶1キロあたり150円(有機栽培の場合はプラス30円)の奨励金を通常の支払いとは別に、紅茶園に支払います。そのお金はお茶園の労働者の代表と経営側の代表でつくる管理委員会で協議して生活向上のために用います。

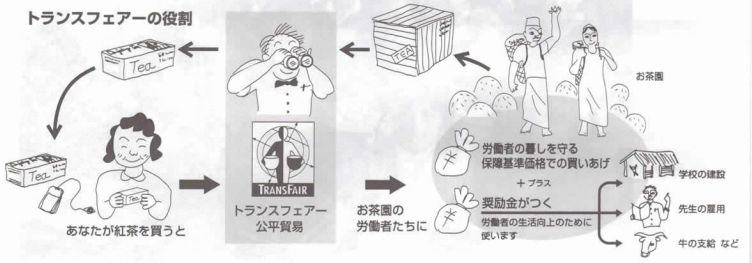
私たちが扱っていますダージリンのサマペオング茶園の場合は、従来からそのような奨励金で学校を建て教師を雇い教育の分野でも貢献しています。また、労働者のそれぞれの家族には牛が支給され、糞をお茶園に肥料として売って収入をえています。

サマペオングの年間のお茶の収穫は50トンですから、トランスフェアーの基準で計算すると900万円が別会計に積み立てられる予定になります。1日の労賃が1ドルのお茶園では夢のような多額の資金です。電気のない生活をおくっている人たちですが、将来、小型の水力発電所を建設することも不可能ではありません。

私たちも昨年から準備していましたトランスフェアー紅茶を5月から販売いたします。ダージリンとタンザニアの有機栽培紅茶の二種類で、今回はティーバック用の紅茶を粉で購入し、日本で箱をつくりティーバックにしました。本来は現地の国で完成品にするほうが、現地に仕事を生み出すうえでも、値段の面でもいいのですが、タンザニアでティーバッグを作ることができないのです。

皆さんが支払ってくださる奨励金、1箱(2.5g×50ティーバック)あたり22円は、確実に積み立てられ、生活向上への希望を失いかけている人たちに希望を与えるに違いありません。

トランスフェアーの役割



サマペオング茶園の管理委員会のメンバー
左からプジェルさん、Lシャルマさん、
K.シャルマさん、ライさん

ネパール出身のインド人が
お茶園の労働者です

霧に包まれるサマペオング

購買者の方からの声

いつも励ましの声をいただき感謝しています。最近のお言葉を紹介いたします。

- いつも紅茶ありがとくいただいております。たまには2同じスリランカから直輸入されたというセイロン茶を試すと、どうもなじめず、すっかりわかちあいプロジェクトのファンになってしまいました。(3月29日 文京区 Mさん)
- 喫茶店をやっておりますが、知人に頂きとてもおいしいのでお店に置いてお客様にすすめています。おいしくて国際協力にもなってこういう品物がもっと増えて行くと良いです。(3月31日 北海道 Aさん)
- 紅茶ますます人気です。(4月4日 国分寺市 Nさん)
- スリランカのウバ茶、毎日のように愛飲しています。おいしいと、人の役に立てるなんてまさにおいしさ2倍ですよね。これからも活動見守り続けます。がんばって下さい! (4月13日 杉並区 Tさん)
- どんなにおいしいコーヒーだろうと今から楽しみです。"施し"というのでなく、わかちあうというこの方法大賛成です。(3月7日 福岡市 Iさん)
- いつもお世話様です。宣伝したいので、パンフレットも沢山つけて下さい。(3月10日 宮城県 Mさん)
- 西宮市高木西町より震災のため転居しています。避難の中、おいしいコーヒーは日常の証です。(4月4日 淀川区 Oさん)
- 1年程前、粉コーヒー3缶セットを送って頂き、大変おいしく気に入りましたので、また注文いたします。(4月17日 箕面市 Hさん)